

<シート1>

第1節 教育・保育事業(P28～31)

1. 学校教育の提供(幼稚園・認定こども園)(P28)
2. 保育の提供(保育所・認定こども園・地域型保育事業)(P30)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
1号(3～5歳)	2,758人	1,927人 (幼稚園 1,712人 保育課 215人)	子育て支援課 (幼稚園) 保育課 (認定こども園 等)	2,766人	1号分の提供体制としては、市内で2,295人、市外で463人、計2,758人分を確保していましたが、ニーズ調査から計算された見込み量は、1,866人、実績が1,927人であり、十分な提供体制が取れています。(子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給のバランスは困難と思われるうえ、利用者の意向を把握することにも限界があると思います。利用者の動向を見極めながら、今後とも進めていただければと思います。 ・ここでの実績を見ると、1号は幼稚園での延長保育などもあり、就業している保護者に対しても受皿があるということで、29年度値は適切だと思われます。今後も3号の0～2歳までの保育希望者は増加が見込まれます。相談の中でも、0～2歳児の保護者は就業希望はあっても入園できず、一時保育を利用してしのいでいる人もいます。3号については、0歳180名、1～2歳780名くらいは必要でしょう。2号と3号を工夫してくれればと思います。 ・3号分の提供量確保に工夫が必要。 ・細かな対応ですばらしいと思います。 ・3号分については、利用者のみなさんより利用できるか不安の声をたびたび聞きます。 ・新制度になって、家庭保育室も市が入所を決めるようになったため、4月入所に間に合わない早生まれの子や、急な職場復帰などに対応する高い金額でも出せば入れる小さい園がなくなってしまった。1・2号の年齢は選択肢が増えたが、3号については余裕をもつための枠の確保が必要だと思います。 ・継続 ・なぜ利用者が少ないのか、その要因を把握し適正な提供量を確保していくことが求められる。啓発の効果どうなのか？ ・3号分確保のため小規模保育施設の増設など検討。その際は質の問題からA型で開設できるといいと思います。 	2,814人
2号(3～5歳)	897人	854人	保育課	936人 (実績916人)			993人
3号(0歳)	148人	140人	保育課	178人 (実績161人)	3号分については、計画値の提供量の確保ができませんでした。2号分については、提供量は確保しているものの、実際の利用者がいなかったため、実績値は少なくなっています。課題としては、2・3号の見込み量の見直しと、3号分の提供量の確保が課題です。(保育課)		178人
(1～2歳)	657人	622人	保育課	771人 (実績682人)			767人

第2節 地域子ども・子育て支援事業(P32～43)

1. 利用者支援(P32)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
保育課窓口での提供	1か所	1か所	保育課	2か所 (実績1か所)	選任の職員を配置する形ではなく、担当課職員が、コンシェルジュとなって対応しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な対応と思います。 ・29年度値は適切だと思われます。 ・担当課職員の加重負担は大丈夫か？ ・多様の中で、場所も含め、職員の育成もお願いします。 ・以前より丁寧に話を聞いてくださるようになり、評価しています。 ・継続 ・支援のための知識等の向上を。コンシェルジュ方式は利用者にとって堅苦しくなくてよい。 ・担当課職員の知識の向上(専門性)。他課との連携が必要(保育を必要としている一人ひとりの環境に配慮)。 	2か所

2. 延長保育(時間外保育事業)(P33)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
保育所での実施総数	1,113人	841人	保育課	1,126人	延長保育(時間外保育)は一部の乳児を除き、必要とする全ての児童が利用できるように提供量を確保していますが、実際の利用者が少なかったため、実績値は少なくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者が利用できるよう確保して下さい。 ・29年度値は適切だと思われます。 ・利用したいが利用できない制約や負担(金銭的)はどうか。 ・延長保育で足らずファミサポ依頼で22時まで増えています、実績値からみると、ごく一部となるのでしょうか。 ・十分に対応してよい。少ない理由は何か、探る必要があるのでは。 ・継続をお願いします。 	1,126人
提供か所数	18か所	19か所		19か所 (実績20か所)			20か所

3. 放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)(P34)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
小学1～3年	690人	703人	保育課	695人 (実績747人)	平成27年度に鶴瀬第2・第3、水谷第2・第3、勝瀬第2の5クラブを建設・整備しました。平成29年度には入室児童数が増えているつるせ台に新クラブの建設を予定しており、今年度はその設計を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を進めて下さい。 ・仕事を続ける保護者は増加するでしょうから、29年度値は1～3年生は750人くらい必要かもしれません。 ・29年度中に新クラブの完成を期待します。 ・継続、よろしくをお願いします。 ・南畑地区も新しい住宅が増え今後増加が見込まれるとのこと、予測調査を行い早めの対応をお願いします。 また、6年生まで入室可能になり、同じ人数でも以前より狭く感じます。(高学年は体も大きいので)定員の見直しや、教室の間借りなども考えていく必要があると思います。 ・十分対応できるようハード面の整備を。指導員の確保を考えることが必要。 ・各学校とも環境が整備されていると思います。長期休み(夏休み)のみの受け入れをお願いします。 	725人
小学4～6年	230人	215人		265人 (実績275人)			275人
クラブ数	18か所	19か所	19か所 (実績21か所)	20か所			

4. 子育て短期支援事業(P35)・・・富士見市緊急ファミリー・サポート事業

	(A) 平成27年度計画値	(B) 平成27年度実績値	(C) 担当課	(D) 平成28年度計画値	(E) 進捗状況及び課題	(F) 委員意見	(G) 平成29年度値
人数	5人/1か所	1人/1か所	保育課	5人/1か所	宿泊を伴う利用者数に大きな変化は見られず、例年0～5人で推移しており、現状の体制を維持していく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・体制維持でよいと思います。 ・支援事業の内容を教えてください。 ・いつ必要な状況になっても、スムーズに対応できるように。 ・現状維持をお願いします。 	5人/1か所

5. 乳児家庭全戸訪問事業(P36)

	(A) 平成27年度計画値	(B) 平成27年度実績値	(C) 担当課	(D) 平成28年度計画値	(E) 進捗状況及び課題	(F) 委員意見	(G) 平成29年度値
訪問件数	892件	880件		900件			905人
実施率	88.0%	88.8%	健康増進センター	88.0%	母子保健推進員による全戸訪問と、保健師による希望制の訪問とを実施し、子育て支援に関する情報提供や養育環境の把握、必要に応じた支援をしています。長期里帰り等で訪問ができない場合には電話相談を行います。連絡がつかない家庭の把握と支援が引き続きの課題となっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施率が上がるよう進めて下さい。 ・虐待死の多くは乳幼児ですので、望まぬ妊娠や連絡のとりにくい家庭こそ、いかにコンタクトをとるか大切になります。一家庭でも多く訪問できるよう願います。 ・連絡がつかない家庭の子ども安否(生存の有無)が気になります。 ・大変な仕事ですが、継続して内容の充実を図って下さい。(連絡のつかない家庭の支援?) ・全戸訪問、本当に大変なことですが、引き続き支援よろしく願います。 ・母子保健推進員としてできる限り訪問するように努力をしていますが、連絡がつかなかったり拒否の場合は仕方がないと思います。あくまでも相手のニーズに応える訪問でありたいです。 ・十分に対応できていると思われる。連絡がつかない家庭とどう対応するか、その対策を。今はスマホの普及ができていますので登録制を。 ・他課(水道を使っているのかとか)との協力必要。 	89.0%
訪問対象家庭数	(出生数見込み1,014人)	991人		(出生数見込み1,023人)			(出生数見込み1,017人)

※訪問対象家庭数を1月～12月に生まれた乳児のいる家庭数にしているのは、訪問実施月齢が約生後3か月前後のため、年度(4月～翌年3月)の訪問件数の実施率を算出するために、このような捉え方になっている。よって、実質的な実施率を算出するため訪問対象家庭数を利用する。

6. 養育支援訪問事業及び子どもを守る地域協議会(要保護児童対策地域協議会)その他の者による要保護児童に対する支援に資する事業(P37)

	(A) 平成27年度計画値	(B) 平成27年度実績値	(C) 担当課	(D) 平成28年度計画値	(E) 進捗状況及び課題	(F) 委員意見	(G) 平成29年度値
人数/実施機関	10人/1か所	0	障がい福祉課	10人/1か所	保健師による訪問の用具(体重計等)の準備や実施要綱の整備が整いました。課題として、ヘルパーの資格では乳児へ直接触れての支援ができない又はヘルパー事業所が提供に難色を示すことが課題です。母への家事の手伝いや買い物代行はヘルパーで提供可能ですが、乳児への直接支援は看護師や保健師・助産師が可能であり、そうした人材の確保が課題です。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の確保、困難と思われます。 ・人材の問題が早期に解決できるよう願います。虐待予防のためには29年度も必要だと思われます。(10人/1か所) ・人材確保には予算が伴うものなので多くの人達の理解を得る努力が必要です。 ・ヘルパー・看護師・保健師などの情報の共有と連携が難しいのでしょうか。 ・資格の見直しを含め、システムの改善が必要かと。意義を周知し、医師会との連携強化を。 ・保育士までの拡大は? 	10人/1か所

7. 子育て支援センター(地域子育て支援拠点事業)(P38)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
人数/実施か所	70,000人/9か所	35,217人/9か所 (地域活動事業含む)	保育課	73,000人/10か所 (実績70,000人/9か所)	計画どおりの供給量を確保しましたが、実際の利用者は少なかったため、実績値は少なくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・時々利用者の状況を見る機会がありますが楽しそうです。利用が増えるようなPRはいかがでしょうか？ ・利用が増えているのか。今後を見通すため子育て支援センターの役割を再度考えた方がよいのでは？利用者には良い場ですが。 ・提供体制の充実と周知活動もお願いします。 ・以前より利用者数が少し減少しているように思います。近くに支援センターができたことあると思いますが、センターに來れないでいる母子への働きかけが課題だと思います。 ・利用者増加のための工夫を。 ・継続しての供給をお願いします。 	73,000人/10か所

8. 一時預かり事業(P39)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
1号認定(幼稚園)	18,847人	10,695人	子育て支援課	19,028人	一時預かり事業は、計画値を大幅に下回っており、保育所新設等の効果もあり、保育を必要としながら幼稚園に預けている人数は、減っています。(子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・大変良い事業と思われます。今後とも利用者増が図られるようお願いします。 ・保育事業第一節の3号と同様、出生率が減じていない富士見市では、0~2歳児への対応を考えた方が良いかと思ひます。ここでの29年度値を減じた方が良いと思ひます。何年間かの上昇率から推定した方が良いでしょう。 ・周知活動も引き続きお願いします。 ・①利用希望日が重なりキャンセル待ちになる。②0歳での希望が増えてきている。③アレルギーの対応が必要な子が多くなっている。3つの大きな課題があるが難しい。 ・いつでも対応できるように準備は必要である。 ・利用者が幅広く選べるよう情報提供していく。 	19,015人
2号認定(幼稚園)	61,250人	21,564人		62,965人			計画どおりの供給量を確保しましたが、利用希望日が重なる時期がある等、実際利用できる方は少なかったため実績値は少なくなっています。(保育課)
保育所等による	15,278人	8,272人	保育課	15,457人			15,460人

9. 病児・病後児保育事業(病児保育事業)(P40)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
提供体制	980人/3か所	119人/3か所	保育課	980人/3か所 (実績2,205人/4か所)	計画どおりの供給量を確保しましたが、実際の利用者は少なかつたため実績値は少なくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・提供場所、またタイミング等、利用したくても利用に至らなかったケースがあるかと考えますが？ ・29年度値、適切だと思います。 ・周知をお願いします。 ・病気の子どもを安心して預けるには、情報が少なすぎると感じます。利用者の声などを集めてHPにのせたり、ポスターを作成して保育園などに掲示すると良いと思います。 ・少ないことはよいことだが、非常時に対応できるようにしておくことが必要。 ・継続して供給をお願いします。 	980人/3か所

10. ファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援事業)(P41)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
提供体制(未就学)	2,945人	2,695人	保育課	2,919人	提供会員数は地域によってバラつきがあり、全体的にも少ない状況です。ファミサポをより知っていただくことが提供会員の増加に繋がると考え、各種講座の開催や広報への掲載、施設へのパンフ配布等を行っています。また、近隣市町や民間事業者が行う支援事業の情報収集を行い、依頼会員に対する支援環境の充実に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーターの減少が少し心配ですが、制度の充実をお願いします。 ・保護者が安心して子育てをするため必要です。29年度値、適切だと思います。 ・まだまだ周知不足かと思えます。提供会員の増加活動に力を入れていただきたいです。 ・ばらつきのある地域への啓発活動の工夫を。地域性があると思われるので、それらを考慮した対応の工夫を。 ・利用しやすさ等も必要。 	2,970人
提供体制(小学生)	1,843人	1,375人		1,827人			1,860人
合計	4,788人	4,070人		4,746人			4,830人

11. 妊婦健康診査事業(P42)

	(A)平成27年度計画値	(B)平成27年度実績値	(C)担当課	(D)平成28年度計画値	(E)進捗状況及び課題	(F)委員意見	(G)平成29年度値
延べ受診者数	22,700人	22,911人	健康増進センター	23,000人	国が示す実施基準に基づき、14回までの妊婦健康診査に関する費用の一部を助成し、ほぼ全数に近い妊婦が受診しています。引き続き、受診しやすい体制づくりと、必要に応じた支援に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な事業です。今後ともよろしくをお願いします。 ・29年度値、適切だと思います。 ・大切な支援ですのでこれからも受診しやすい支援をお願いします。 	23,200人
助成券(※)1回目利用者数	1,020人	941人		1,030人			1,040人
妊娠届出数	1,060人	989人		1,070人			1,080人

※以前は受診票と助成券とがあったが、現在はすべて助成券で統一されているため、表記を変更した。